

始めに、

本測定キットは無線タイプのセンサを採用し、工場などの広い空間に簡単に設置、測定できることを目的としております。使い勝手を優先し、温度測定精度について絶対精度において $\pm 1^{\circ}\text{C}$ 程度の誤差があることを了解ください。（※No1 のセンサ測定値と No3 の測定値が 1°C 以上ずれる、No2 の測定値が絶対値より 1°C 程ずれる、など）

本キットの目的は、現在のお客様環境“変化”を把握することで、その変化が実際にどのように生産活動（加工精度、測定精度、機械の稼働安定性など）に影響しているかの関連性を見つけることが目的です。よって“絶対値”からのずれ量が問題ではなく、どのように環境が変化しているか、その時の生産活動は？を比較検証することが重要です。従って温度の数値にこだわるのではなく、時間を追った変化の量、変化の仕方（緩急）に注目してください。

本キットによる環境測定と同時に、本題である貴社の生産活動の記録（精度、不良率、機械のアラーム発生履歴など）を必ず取ってください。

取扱上の注意

- センサ及び機器は全て常温の陸上環境（常温、常気圧、湿度80%未満）で使用されることを前提としております。これらの条件を守ってください。
- 特にオイルミスト等の浮遊物質に過剰にさらさないでください。センサの表面に付着すると、センサが破壊されます。
- 通常の使用範囲を超えて使用され、機器の破損を招いた場合は、損害の補償をお願いいたします。
- 本キットの到着時には、付属のリストに従い物品のチェックをお願いします。返却時にリストより欠損がある場合は、損害の補償をお願いいたします。
- 本キットの中身、及び操作方法などについて質問が生じた場合は、下記にご連絡ください。

(株)ヒーバックシステム

〒422-8013 静岡県静岡市駿河区小鹿 813-1

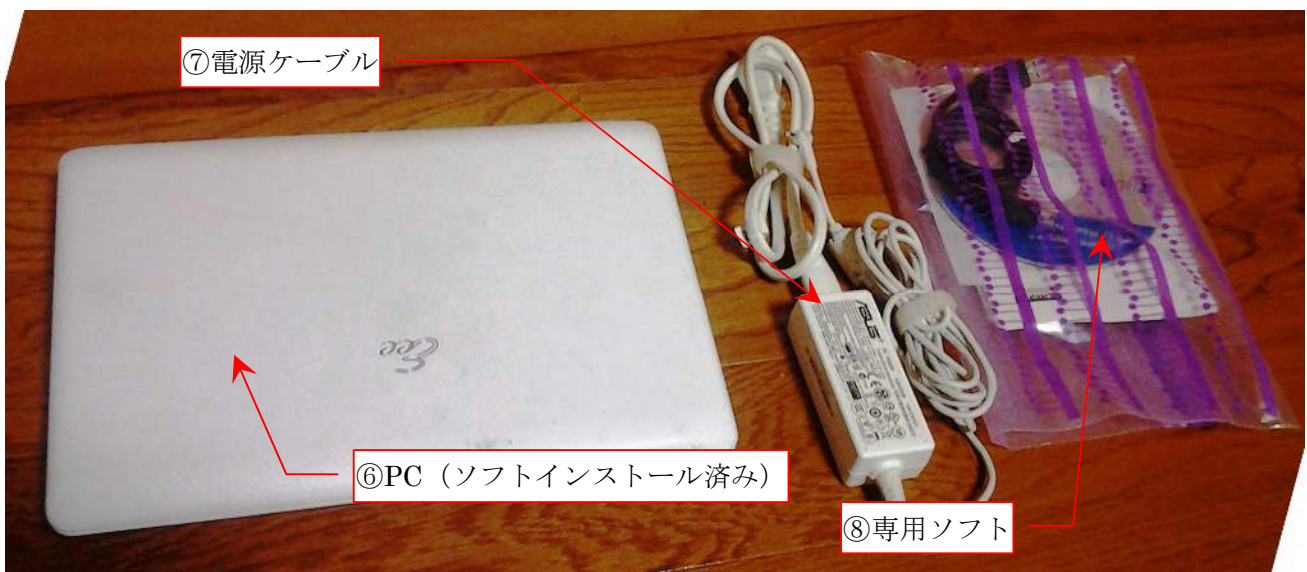
(054)-208-3601(代) 担当：野田 080-3637-0347

noda@hvac-system.com

キットの中身



設定・データ回収用 PC



PC をケースに収納した時



キット付属品リスト

#	名 称	個数	備 考
①	温湿度センサ	6 個	No.1 ~ No.6 (型式 RTR-53A)
②	データ回収器	1 個	型式 RTR-57U
③	USB ケーブル	1 本	データ回収器 PC 接続用
④	ドライバ	1 本	センサ電池交換用
⑤	予備電池	—	中古電池です (非常用)
⑥	PC データ設定・回収用	1 台	ソフトインストール済み
⑦	電源ケーブル PC 用	1 本	
⑧	専用ソフト (他 取扱説明書など)	1 式	CD1 枚、その他 取扱説明書

【使用方法】

1 機器の設定

- (ア)測定パターン【測定開始日時（年月日 時間）、測定間隔（秒）】はあらかじめ弊社にて設定してお送りしております。
- (イ)変更の必要がある場合には、専用ソフトのインストールされたPCが必要になります。
設定ソフトの使用方法については、ソフトウェアのヘルプを参照頂くか、弊社にご相談ください。

2 測定データの回収

- (ア)センサ本体に記録可能なデータ量には制限があります。測定時間がこの制限の範囲内の場合は、センサ本体よりのデータ回収は弊社にて行います。
- (イ)測定時間がデータ制限量を超える場合、制限時間毎にデータの回収が必要となります。下記の手順でデータを回収してください。なお回収する機器からPCへの回収は弊社にて行います。

3 ハンディ回収器でのデータ回収方法

- (ア)光通信による回収 ※推奨方法 時間が極端に早く、電池が消耗しません
- ① データ回収器の左下〔Power On/Off〕ボタンを押して起動してください。
 - ② センサ1つずつ、下記の手順でデータを回収します。
 - ③ データ回収器の左側面上側ダイヤルを使い、《データスイアゲ》を選択してください。
 - ④ 温湿度センサを写真のようにデータ回収器にセット（押しつける）し、データ回収器の左側面上側ダイヤルを押してください。
 - ⑤ 《スイアゲカインシ》をダイヤルで選択し、押してください。データの回収が始まります。終了のメッセージが出たら、ダイヤルを再度押してください。
これでセンサのデータは回収器に保存されました。
 - ⑥ 【モドル】をダイヤルで選択し、ダイヤルを押してください。モドルを選択し続けることで電源投入時の初期画面に戻ります。
- (イ)無線による回収 ※センサ設置位置へのアクセスが困難な場合
- ① データ回収器の左下〔Power On/Off〕ボタンを押して起動してください。
 - ② センサが無線でつながっているか確認します。
データ回収器の左側面上側ダイヤルを使い、《WL コキケンサク》を選択してダイヤルを押してください。
 - ③ ダイヤルを使い《グループシテイ》を選択してダイヤルを押してください。
 - ④ ダイヤルを使い《HVAC》を選択してダイヤルを押してください。
 - ⑤ 画面右上にアンテナマークが出て、無線状態を確認しています。
 - ⑥ 無線状態が確認できたセンサのリストが表示されます。ダイヤルで目的のセンサがあることを確認してください。
 - ⑦ 【モドル】をダイヤルで選択し、ダイヤルを押してください。モドルを選択し続けること

で電源投入時の初期画面に戻ります。

- ⑧ 下記の手順でデータを回収します。

データ回収器の左側面上側ダイヤルを使い、《WL データスイアゲ》を選択してください。

- ⑨ グループ《HVAC》をダイヤルで選択し、押してください。

- ⑩ 《WL キロクデータ》をダイヤルで選択し押します。

- ⑪ 《スイアゲカイシ》をダイヤルで選択し押します。

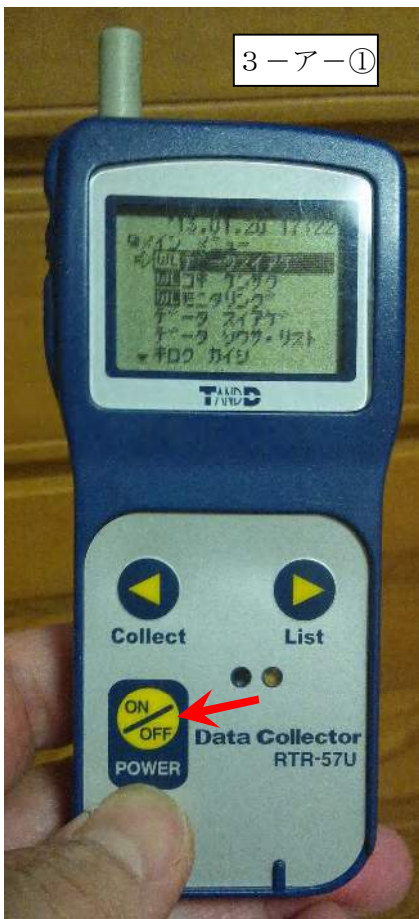
画面右上にアンテナマークが出て、無線でのデータ回収が始まります。

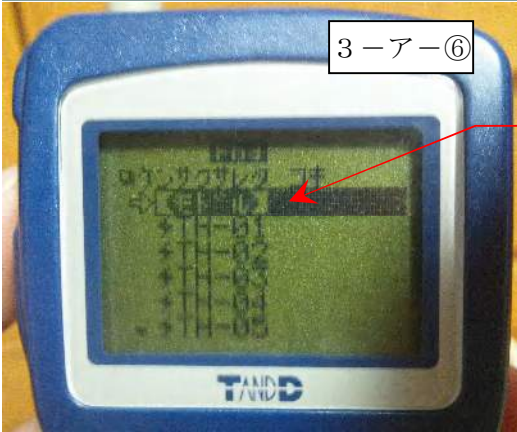
- ⑫ 終了のメッセージが出たら、ダイヤルを再度押してください。

これでセンサのデータは回収器に保存されました。

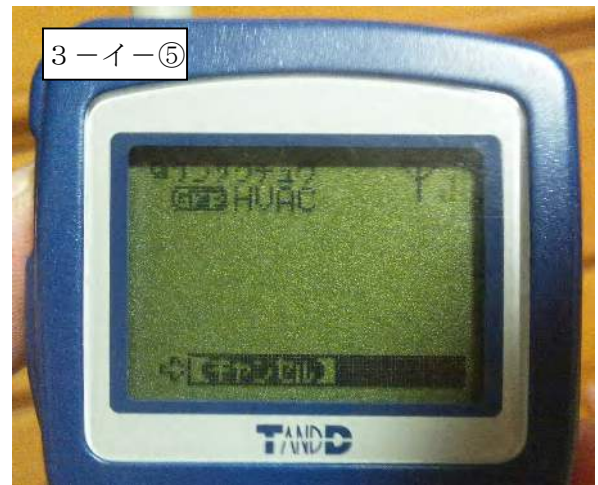
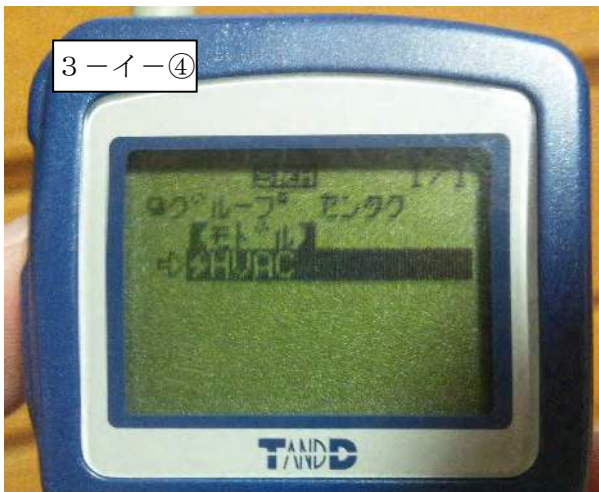
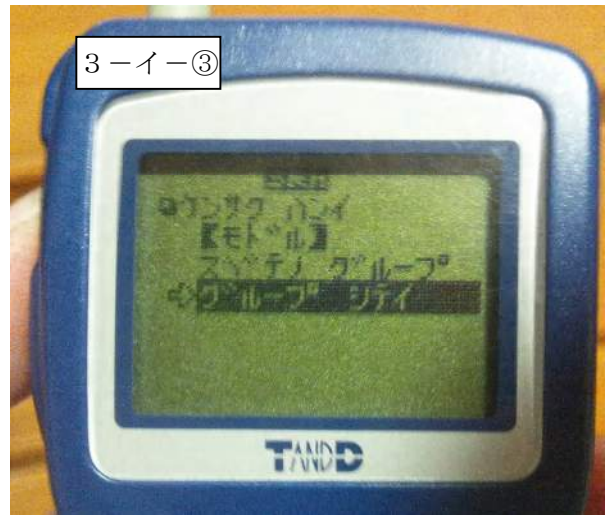
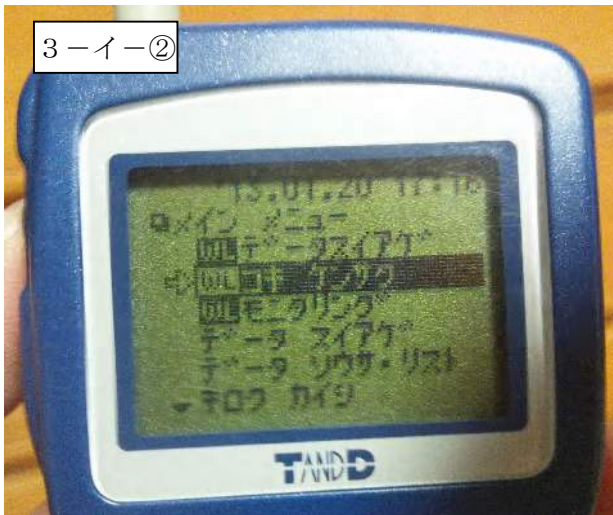
- ⑬ **【モデル】**をダイヤルで選択し、ダイヤルを押してください。モデルを選択し続けることで電源投入時の初期画面に戻ります。

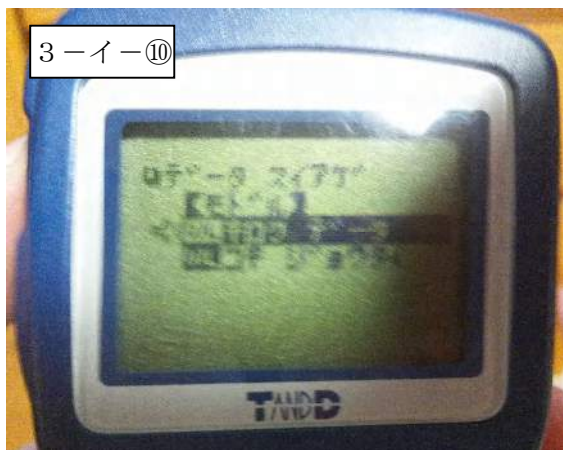
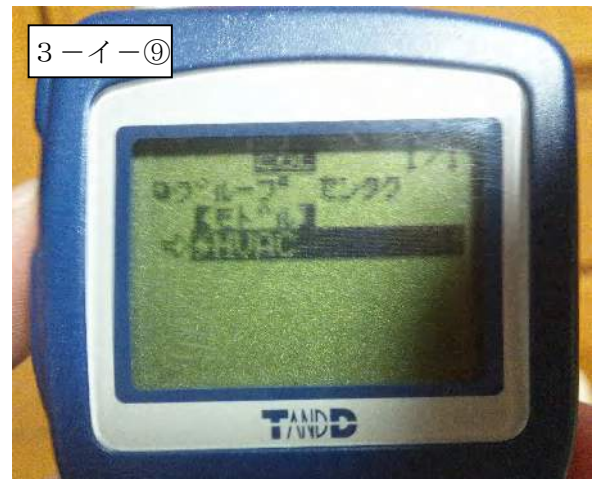
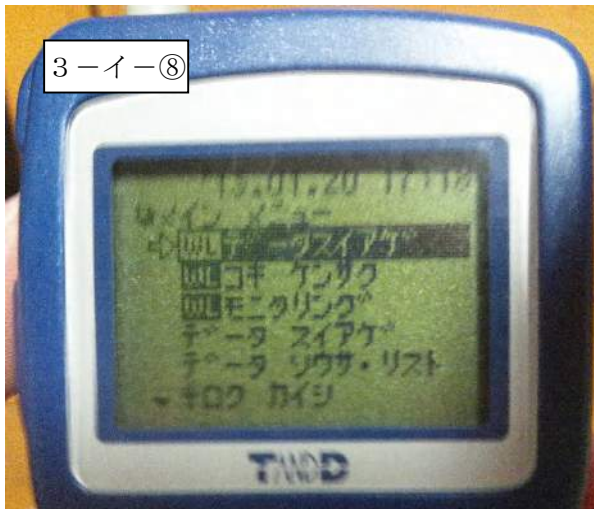
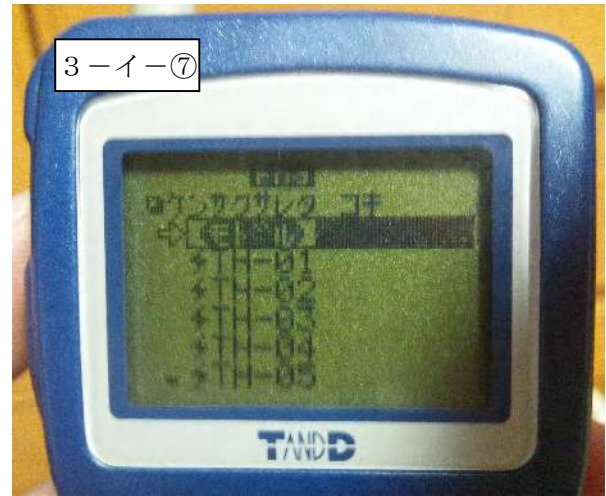
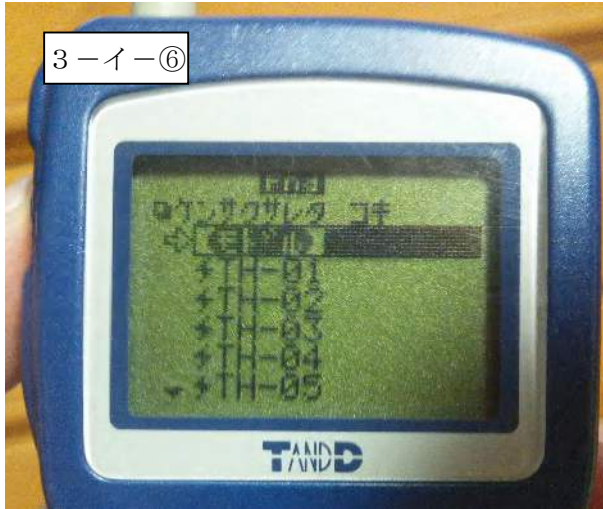
以下、上記操作手順の写真を記載しています。参考にしてください。

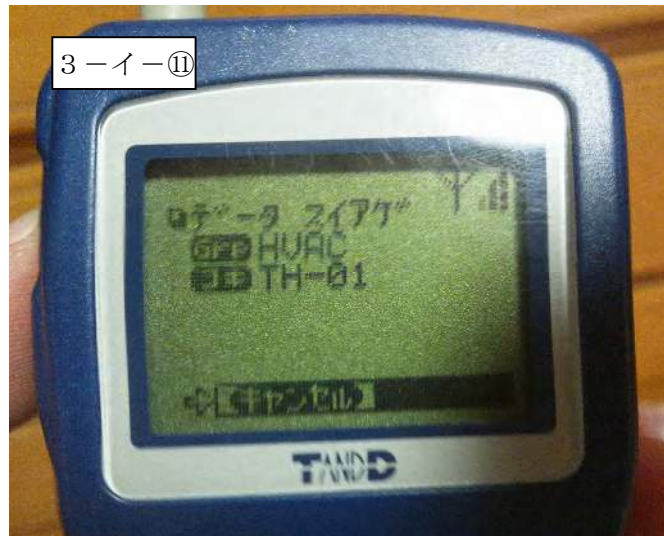




【モデル】で前の画面に







【 参 考 】
センサの設置位置について
壁、機械カバーなどから 300mm ほど
離して設置ください。
高さは床面から 1000~1800mm
貴社設備機械のサイズ、構造により異なります。